



美瑛町ことばの教室 2024.8.21 No.6 (通算380)

## 2学期もよろしくお祈いします

暑かった夏休み、体調を崩さずに過ごせたでしょうか？

夏休み中、家族で楽しく過ごしたことや何かに挑戦してがんばったことなど、子供たちから夏休みの思い出の話を聞くことがとても楽しみです。また、親子で一緒に過ごすなかで、「我が子のよさや成長を感じたこと」、「ちょっと気になること」もあったのではないのでしょうか。これからの面談の中で、いろいろとお話を聞かせてください。2学期もどうぞよろしくお祈いします。

### ことばの教室の2学期の主な行事は・・・

- 学校訪問（ことばの教室担当者が教室へ行き、子供たちの様子を参観させていただきます。）
- 個別の指導計画の見直し 前期反省と後期計画（9月下旬～10月）
- 三者面談（保護者・担任・担当で次年度の支援について相談。12月に予定しています。）

年 組 \_\_\_\_\_ さん

通級時間は \_\_\_\_\_ 曜日 \_\_\_\_\_ 時間目（ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ）です

※色のついているところが通級日です！

### 9 月 の 予 定



- 4日（水）＝ 美瑛小参観日（低学年）
- 5日（木）＝ 美瑛小参観日（高学年）
- 10日（火）＝ ことばの教室の職員研修のため午後休室
- 27日（金）＝ ことばの教室の職員研修のため休室
- 30日（月）＝ 就学児健診のため午後休室

3日（火）6校時  
美瑛小児童で6校時のお子さんはクラブ活動のため、そちらを優先してください。

月		火		水		木		金	
2		3	クラブ	4	参観日(低)	5	参観日(高)	6	特
9		10	特 午後休室	11	朝会	12	特	13	
16	敬老の日	17	特	18		19	特 職員会議	20	
23	振替休日	24	特	25		26	特	27	休室
30	特 午後休室								

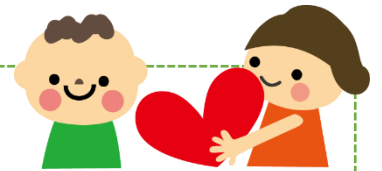
※「特」の表記は美瑛小学校が特別日課の日です。

# 愛情を与えるって？甘やかしとは違う？

私事ですが、お盆休みに十数年ぶりに実家に帰りました。そこで、久しぶりに会った姪っ子と話し、考えさせられました。（詳細は、下を読んでくださいね。）今回は、「愛情を与える」ということについて考えていきたいと思います。

## 愛情を与えるとは？ ⇒ 「子どもが心地よくなるための親の行為」

スキンシップだけが愛情表現ではない。子どもが集中して遊んでいる時に、あえて遠くから見守り、集中を乱さないことも愛情表現。（※ただし、何でも好きなようにさせるのではなく、ルールや約束の中の範囲で。）大切なのは、『心地よさ』を当たり前にしてあげること。



『心地よさ』の土台がしっかりできると…

### ① 自分を大切にできる人間になる。

→人から大切にされると、自分は価値ある存在なのだと思う。人に優しくできる。

### ② 心が強くて頑張れる人間になる。

→小学生以降、嫌でも勉強やスポーツ等で人と比べられる世界に足を踏み入れる。その時に、『子どもがその状況をどう捉え、どう考えるか。』が大切。前に進めるマインドが育つ。

### 〈愛情を与える行為の一例〉

抱きしめる、笑顔、目線を合わせる、スキンシップをとる、一緒に遊ぶ、見守る、褒める、認める、話を聞く、共感する、感謝を伝える、子どもに成長を伝える、子どもの成長と一緒に喜ぶ、一緒に何かを考える、やりたいことを尊重してあげる、「生まれてきてくれてありがとう」と伝える。など…

また、子どもの年齢に応じて、親の距離感や接し方も変えていくことが必要。

#### 【乳児～幼児期】

- ・乳児期は、感情が飛び出しそうな雰囲気です。近くで肌が触れ合うような距離感で。
- ・幼児期は、笑顔とメッセージで伝えることを大切に。大げさに褒めるのではなく、熱量をことばに乗せて褒めることを意識する。体をベタベタ触るのではなく、見守るスタイルで。

#### 【小学生以降】

- ・物理的な距離感や離れていって当然。心がつながることを意識して。
- ・「褒める」→「認める」、「叱る」→「伝える」を前提にコミュニケーションを。

#### 【思春期】

- ・共感する。子どもが努力しているところを具体的に褒める（認める）。（※思春期になると、子どもは、いろいろ見抜いています。表面上の褒め言葉は、逆効果になることも。）
- ・親の価値観や目標を押し付けない。子どもの価値観も大切に。

「こうでなくてはいけない。」「これが正解。」はありません。お子さんに合うスタイルで、できる範囲で…。

参照：子育て勉強会 TERU channel  
teru-education.com

〈おまけ…〉 19歳になった姪っ子は、高校1年の時、人間関係や環境等が合わず不登校になり、現在は、通信制高校で学んでいます。見た目は、金髪にまつエク、カラコン、派手なネイルをして、祖父母はびっくりしていましたが、彼女は、将来の夢をもち、勉強もアルバイトもがんばっています。

しかし、そこまでの過程で、たくさん悩み苦しんだのでしょ。親（私の姉）とも言い争いになり、「私なんていないでしょ!？」と、家を飛び出したこともあったとか…。私にも、「私は、お母さんの期待に応えられていないと思う。」「私は必要な人間なのか不安。」と漏らしていました。でも、「お母さんのハグって、めっちゃ安心する。」とも言っていました。姉は、私から見ると、子どもに愛情をいっぱいもっている人です。でもきっと、姪っ子にとって「心地よさ」の土台がどこか不安定だったのでしょ…。

姉はどんな彼女も丸ごと受け止める覚悟ができたようです。姉親子は、これからまた、「心地よさ」の土台をしっかり補強していけると思うので、遠くから見守っていきたいと思いました。